

# Green Age

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ／第70号

vol. 70  
2020.1月号

1面…センター試験激励会／校内読書感想文コンクール  
2面…Scio／学びのヒント  
3面…部活動の活躍／かけはし  
4面…文化祭

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ／第70号

1月8日(水)、始業式後にセンター試験受験者による「同好会による樹人」の演奏の後、校長先生から「3年間一生懸命培った力をぶつけるのにふさわしい問題だろう。急いだり過程を軽んじたり悔っては失敗する。持てる力を十分に發揮してそのミスを防ぎ、奮闘してほしい」と進学指導主任の西村浩一先生から「全国で55万人、県内では5500人が臨む大勝負。知識・技能・思考力・判断力を發揮してほしい」との言葉が贈られました。在校生代表の洞嵩真くん(2F8 吉野中)は「先輩方の頑張る姿は後輩の胸に響いている。緊張や不安に打ち克つ」と先輩にエールを贈りました。それらを受け、受験生代表の徳田隼二くん(3E1-1 明和中)が「皆からの応援が大きな力になる。鹿高の3年間で培ったものを遺憾なく發揮したい」と決意表明を行いました。そして、最後に前田浩歓くん(2F7 南中)率いる特別応援団の先導で、1・2年生全員と教職員からエールを贈り、受験生全員の健闘を祈りました。当日は寒の戻りで冷え込む2日間となりましたが、受験生の皆さんには個別試験でも皆さんの持てる力を発揮できるよう応援しています。



## センター試験受験者激励会

## 読書の先へ広がる未知の世界

## 第49回 校内読書 感想文コンクール

12月24日(火)、第49回校内読書感想文コンクールの表彰式が行われました。今回は、1・2年生の各学科から「特選」に選出された生徒に、校長先生より賞状と記念品が授与されました。感想文では、読書を通じて自分を見つめなおし、新しい自分に挑戦しようとする意気込みを感じられました。

**特選**

**入選**

**【普通科】**

- 道邊 真愛さん(2F5 鶴池中)…「ピンクとグレー」を読んで
- 青山 理子さん(1F8 南指宿中)…心からの願い
- 【情報ビジネス科】  
金尾 優花さん(2J2 城西中)…戦争を繰り返さないために
- 長瀬 美羽さん(1J3 西紫原中)…1リットルの涙
- 【英文科】  
岩元 美弥さん(2EE2 城西中)…意識より大切なもの
- 平田 幸陽子さん(1EE1 志布志中)…偽りの記憶は必要なのか

**【英文科】**

- 末廣 瑞咲さん(1F2 日当山中)…十三歳は一度あるかを読んで
- 銚田 桃海さん(1F5 和田中)…こんな夜更けにバナナかよ愛しき実話
- 中村 勇斗くん(2F2 帖佐中)…「かぎりなくやさしい花々」を読んで
- 日高萌さん(2F4 帖佐中)…「愛を知らない」を読んで
- 【情報ビジネス科】  
後藤 麻衣歌さん(1J4 紫原中)…あの花が咲く丘で君とまた出会えたら
- 宮崎 未玖さん(2J3 和田中)…「1リットルの涙」
- 松山 杏さん(1EE2 谷山中)…時田秀美へのシンシン
- 仮屋崎 光梨さん(2E1T1 鹿大附属中)…「過ぎ去りし王国の城」を読んで

# グリーンエイジ ***Green Age*** ～可能性の世代～

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これから可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、“グリーンエイジ”と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やしさ」をイメージしています。「夢いっぱいのやさしい若者たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしくお願いします。

	普通科	情報ビジネス科	英数科
1日目	奈良公園・大仏殿	原宿自主研修	三鷹の森ジブリ美術館、 浅草・仲見世、東京スカイツリー
2日目	京都市内タクシー自主研修、 祇園よしもと	志賀高原でスキー研修	東京大学、都内自主研修(大学見学)
3日目	ユニバーサルスタジオジャパン	東京ディズニーシー	都内自主研修 (企業訪問・企業テーマ館等)
4日目	北野異人館、 神戸海洋博物館カワサキワールド	浅草、お台場	東京ディズニーシー
5日目			明治神宮、国会議事堂

12月初めに2学年の修学旅行がありました。普通科は、京都の文化遺産を巡ったり、よしもと新喜劇を観劇したりしました。情報・ビジネス科は、スキー研修や浅草散策をしました。英数科は、班に分かれて都内の大学や企業を見学しました。それぞれ有意義な時間を過ごし、思い出深い数日になつたようです。

修学旅行  
泊



## 2月の行事予定

<http://www.kagoshima-h.ed.jp/magazine.php>



## Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあります。

## 令和2年センター試験実施～今君たちができること～

1月18日(土)・19日(日)現行大学入試制度最後となるセンター試験が実施された。国内最大の大学入試となるセンター試験は、国公立大学や私立大学の多くが採用する試験であり、本年度は昨年を上回る855校の私立大学が利用する。独立行政法人大学入試センターによると、12月の発表では、全国の志願者は昨年度より減少し、約55万人(昨年57万人志願)。総志願者のうち、現役高校生が8割を占める約45万人。卒業生が1.8割を占める約10万人。その他に認定試験合格者など約5千人が受験するところであった。鹿児島県での志願者は約7千人、卒業生14千人、県内現役生の約1/4が志願しており、本校での本年度志願者は183名であった。

本年度は現行大学入試制度の最終年度となり、浪人回避の潮流の中、早くから予備校等により「超安全志向」が指摘されてきた。実際に本年度の受験者は過去を上回り、センター志願者も減少している。しかし、昨年末、大学入学者共通テストの英語外部資格検定試験、および、国語・数学の記述式導入の見送りを受け、受験生の出願予定・併願先動向は年度の予測から大きく変化する可能性が高い。センター試験得点率が上昇した場合には受験生の強気出願が見込まれる。しかし、センター志願者減少を考えると、熊本大などのブロック(中堅)大以上では、倍率は例年並み、あるいは、例年以下になる場合も想定される。一方で、センター試験得点率が下がった場合は継続した安全志向が見込まれるため、最近の公立大入気を考慮した場合、鹿児島大学のような地方国立への出願集中が考えられる。様々な状況により受験は変化する。そうした現状のなかで、受験生にできることは、日々の問題に真摯に取り組み、目標得点、さらには1点でも多くの得点を獲得するしかない。

試験に先立つ1月8日(水)におこなわれたセンター受験激励会では、「緊張と不安」期待に引き継ぎ、183名の顔を前に、校長先生より激励の言葉をいただいた。「急に答えを求めるのではなく、解答のプロセスを大切にする」という校長先生

の言葉は、センター試験のみならず、受験全般、思考全般の核心を突く本質的なメッセージであった。センター試験および、令和3年より実施される大学入試共通テストもマーク形式の試験となる。マーク形式の試験では、機械読み取り専用のマークシート上で解答番号や、数字・符号を塗りつぶし、解答を完成させる。選択肢として解答が与えられる分、無意識のうちに思考が急になってしまつ。誤答に惑わされないため、知識・技能にもとづいた、冷静かつ客観的な思考力・判断力が必要とされる。センター試験はそれを意図してつくられているともいえる。

難しい問題にあまり時間かけすぎないことは受験の鉄則である。解け

る問題をミスなくしっかり解くことが最優先である。解ける設問で確実に得点するためには、資料条件にもとづいた冷静な判断力が必要となる。社会心理学や行動科学の分野では、「ハロー効果」と呼ばれる認知バイアス(偏り)が知られている。「ハロー効果」とは、思考が答えをつくるのではなく、無

意識で答えが影響を与えてしまうことである。マーク形式型のセン

ター試験では特に誤答が給らわしく、「見えて」正解らしく見えてしまう。それ

もで、最近の出題では具体的な場面設定、具体的な資料を用いた、思考力や

判断力をより必要とする新傾向の問題も確認することができる。受験生は過去5～10年のセンター試験の問題に取り組むが、それでも、受験生に

どうして、「こんな問題みたことない」といった意外な出題がみられる。

しかし、センター試験をはじめとして入試問題は解かれたためにつられ

た課題にすぎず、必ず解答のための発想や想い論理的思考展開があり、そ

のための情報が与えられる。もちろん時間は限られてはいるが、冷静に考

えれば解答への道は必ず開かれるはずである。

生徒諸君がこの文章を読む頃、既に本年度のセンター試験は終了している。

3年生は試験が終了した翌日(1月20日)に自己採点を行い、自身の得点

高を確認する。受験生はそのまま自己採点をもとに、国公立大の出願やセンター

利用私立大入試の出願を行う(私立一部はセンター前に出願の必要がある

場合もある)。本年度の国公立大学一般入試(前期・中期・後期)の2次試験出願期間は1月27日～2月5日(水)である。センター試験は重要な受験本番であり、以後、2か月にわたる受験の始まりである。センター試験での

思考・判断の鍛錬は2次試験・個別試験に向けた重要な糧となる。3年生の

諸君はセンター後、先生方や保護者の意見に充分に耳を傾け、慎重かつ迅速

に出席手続きを行い、2次・個別対策に粘り強く取り組んでほしい。また、

1～2年生は来年・再来年の自身の姿として3年生の姿をよく觀察し、自分

の受験を真剣に考えてほしいところである。【進学指導主任】西村浩一



## 学びのヒント

体育科・中江 寿孝

皆さん、こんじさんは、今日は私なりの「学びのヒント」ということをお伝え

たいと思います。皆さんも、存じの通り、私は陸上競技部の監督をしております。お陰様で、ありがたいことに毎年全国大会や九州大会で好成績を収めることができます。そんな中、好成績を残す事ができている選手を見ています。

ある特徴が見えてきます。それは、「考えることができる選手」かつ「継続した練習がされている選手」であるということです。よくよく考えると、この選手は、競技力だけでなく、普段の学業成績や、進学・就職といった進路面でも充実した結果を残していることが少くありません。つまり皆さんのがあるのかもしれません。

さて、では、そのような選手(生徒)が最初からそうであったかというと、全員がそうではないわけではありません。高校生活の年間の中でそのように成長していく場合が多いです。陸上競技は、ただ走っているように思えるかも知れませんが、ただ走る動作の中にも手足の使い方や目線、身体の位置、力を

鍛錬を重ねた受験生にとっての力量の見せ場であり、楽しみの一いつである。

また、一方で、1点でも多く得点することを考へれば、必ず全問題に向き得点するためには、資料条件にもとづいた冷静な判断力が必要となる。社会心理学や行動科学の分野では、「ハロー効果」と呼ばれる認知バイアス(偏り)が知られている。「ハロー効果」とは、思考が答えをつくるのではなく、無

意識で答えが影響を与えてしまうことである。マーク形式型のセンター試験では特に誤答が給らわしく、「見えて」正解らしく見えてしまう。それ

もで、最近の出題では具体的な場面設定、具体的な資料を用いた、思考力や

判断力をより必要とする新傾向の問題も確認することができる。受験生は過去5～10年のセンター試験の問題に取り組むが、それでも、受験生に

どうして、「こんな問題みたことない」といった意外な出題がみられる。

しかし、センター試験をはじめとして入試問題は解かれたためにつられ

た課題にすぎず、必ず解答のための発想や想い論理的思考展開があり、そ

のための情報が与えられる。もちろん時間は限られてはいるが、冷静に考

えれば解答への道は必ず開かれるはずである。

生徒諸君がこの文章を読む頃、既に本年度のセンター試験は終了している。

3年生は試験が終了した翌日(1月20日)に自己採点を行い、自身の得点

高を確認する。受験生はそのまま自己採点をもとに、国公立大の出願やセンター

利用私立大入試の出願を行う(私立一部はセンター前に出願の必要がある

場合もある)。本年度の国公立大学一般入試(前期・中期・後期)の2次試験出

願期間は1月27日～2月5日(水)である。センター試験は重要な受験本

番であり、以後、2か月にわたる受験の始まりである。センター試験での

思考・判断の鍛錬は2次試験・個別試験に向けた重要な糧となる。3年生の

諸君はセンター後、先生方や保護者の意見に充分に耳を傾け、慎重かつ迅速

に出席手続きを行い、2次・個別対策に粘り強く取り組んでほしい。また、

1～2年生は来年・再来年の自身の姿として3年生の姿をよく觀察し、自分

の受験を真剣に考えてほしいところである。【進学指導主任】西村浩一

## かけはし

1月号

12月1日に生徒総会が行われ、後日、先生方との懇談会がありました。

今回は、生徒総会でいただいた質疑に対しての回答と、懇談会を終えて決まったことを報告します。

【質疑応答】

① 売れ残りのパンの入荷数を減らして、メロンパンの入荷数を増やしてほしい。

→ メロンパンは返品が出来ず売れ残ると処分するので出来ない。

② クラスマッチでのサッカー部と経験者の制限をなくしてほしい。

→ 顧問の先生と話し合って各自決める。

③ テスト期間中の部活停止はほしい。

→ ルールや審判を生徒がしっかりとできるようになればクラスマッチに導入するか検討する。

④ パンをクラスマッチに取り入れて取り組んでいくことに決まりました。

【提議】食堂の使い方について

① 昼食時間の屋上開放について

→ 安全確認や管理が難しいため不採用。

② SHR前の飲食許可について

→ クラスでどのくらい飲食時間を必要としているのかを把握する。

③ ブランケットの教室での使用について

提案の中でも不採用となつた意見は、三弧会で状況を把握し、練り直して問題解決に努めていきたいと思います。

## 部活動の活躍

**陸上競技部**

第57回 南日本長距離走大会  
1月5日 [1月19日]  
県1位 坂元 葵衣(1F9 南中)

第60回 南日本10kmロード通信競技大会  
12月8日 [1月19日]  
新山 爰心(3F5 伊敷台中)

**陸上競技部**

第48回 鹿児島県職域駅伝競走大会  
1月5日 [1月19日]  
坂元 葵衣(1F9 南中)

第57回 南日本長距離走大会  
1月5日 [1月19日]  
坂元 葵衣(1F9 南中)

**女子バスケットボール部**

第17回 ハヤカワ・スボラボボール大会  
1月19日 [1月19日]  
林 祥運(2J4 甲南中)

**女子バドミントン部**

第27回 JOOCジュニアオリンピック  
1月19日 [1月19日]  
川ノ上 可鈴(2J1 清水中)

**書道部**

第72回 鹿児島県書道展  
1月19日 [1月19日]  
大 賞 福田 莉々(2E2 東谷山中)

**書道部**

第72回 鹿児島県書道展  
1月19日 [1月19日]  
大 賞 福田 莉々(2E2 東谷山中)

**美術部**

第47回 全国高等学校選抜卓球大会シングルス予選会  
1月18日 [1月18日]  
橋本 花蓮(1F2 長田中)

**卓球部**

第47回 全国高等学校選抜卓球大会シングルス予選会  
1月18日 [1月18日]  
弓場 麗愛(1J3 城西中)

**吹奏楽部**

第46回 鹿児島県吹奏楽アンサンブルコンテスト  
1月14日 [1月14日]  
橋本 花蓮(1F2 城西中)

**吹奏楽部**

第46回 鹿児島県吹奏楽アンサンブルコンテスト  
1月14日 [1月14日]  
井上 萌桜(2F7 川内南中)

**音楽部**

第46回 鹿児島県吹奏楽ソロコンテスト  
1月14日 [1月14日]  
井上 萌桜(2F7 川内南中)

**音楽部**

第46回 鹿児島県吹奏楽ソロコンテスト  
1月14日 [1月14日]  
井上 萌桜(2F7 川内南中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26回 鹿児島県高校写真展  
1月15日 [1月15日]  
銀賞 岩崎 純祐(3F6 清水中)

**音楽部**

第26